

AI（人工知能）に関するニュースを連日目にするようになってきました。今回の読得では「いよいよそんなところまで来たの!？」と思わず声を上げたくなるようなAIに関する話題を紹介したいと思います。

わずか10分で病名を見抜きアドバイス！患者を救ったAI医師



極力診断ミスを避けてほしい・・・そのような方に朗報かもしれません。膨大な医療情報を学習したAIが治療が困難だった60代の女性患者の白血病を10分ほどで見抜き、適切な治療法をアドバイスしたことで女性の命を救ったとのニュースがつい聞こえてきました。AIの出した診断を踏まえて医師が治療を施したところ女性は回復し、退院するという奇跡が起こったそうです。AIに教え込ませた情報としてはがん研究に関連する約2千万件以上の論文、遺伝子情報等が挙げられます。人間には処理不可能なほどの大量の論文や遺伝子データを把握・分析し、正確な解を導き出すというAIに医療の新たなステージを予感させます。

記事出所：Health Press、Excite.ニュース、産経ニュース

個別の学生の状況に応じて対話も可能！？学校にAI先生現る



受験勉強に向けて最適な学習法を教えてほしい・・・そのような方に朗報かもしれません。AIが実際の学習過程を通じて収集された約10万件もの膨大な情報に基づき、ベストな方法で指導してくれる先生へとなりつつあるようです。数百人の個人指導教師が1対1で学生への指導を行い、その成功事例を蓄積、そしてその学習プロセス等含めた膨大な情報をAIに学習させた結果、各学生の傾向、思考過程、能力などを綿密に分析し、適切な会話を続けていくことができるようになったというから驚きです。個人の傾向に合わせて効率的・効果的な学習法を教えてくれるAI。教育・指導において重要な役割を果たす存在になりそうです。

記事出所：ROBOTEER

写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。

<審査番号:82535-TMPL-02/2017-470342.> © 2017 Goldman Sachs. All rights reserved.

AIが人間の生活やビジネスで欠かせないパートナーに！？



このように医療、教育等、様々な分野で人間の処理能力を超えるAIが導入されつつある中、今後はますます幅広い産業にて不可欠な技術としてAIが活用されることが予測されます。身近な例で考えるとAIが美味しいレシピを考えてくれる、資産運用にて効率的な投資へと導いてくれる、ビジネス面では企業にある大量の情報を元に最適な営業戦略を考えてくれる等多くの可能性を秘めています。そのようなAIの進化の背景には文章だけでなく音声や画像データも含めた膨大な情報が人間によって日々生み出されており、その情報をAIが学習し続けているからだといえるでしょう。

AIが次世代の産業革命を巻き起こす！？

私たちの生活やビジネスにおいてAIの分析力があればこれまで人間では打開ができなかった課題をも乗り越えられる可能性が出てきています。一方、それならAIは万能の神かというところではなく、現時点では人間の知識や技術を用いAIを開発、学習させることが不可欠なのは言うまでもありません。ただ今後AIの高い分析力を導入し、人間のビジネスや生活に役立てる、このようなことが当たり前になった暁には新時代の「産業革命」が巻き起こるのではないのでしょうか。



知っ得、プチAI情報

諸説ありますが「AI (Artificial Intelligence)」という言葉は1940年代から50年代に経済学、心理学等の様々な分野の科学者が「人工頭脳 (Artificial Brain)」を作る可能性について議論しはじめたことをきっかけに広まったようです。1956年に人口知能研究が学問分野として確立されており、実はAIの歴史は古いことがわかります。近年、ビッグデータの活用の広がりとともに研究開発が進み、AIの精度が上がってきているため注目が集まっています。

写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

Goldman
Sachs

Asset
Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。
<審査番号:82535-TMPL-02/2017-470342.> © 2017 Goldman Sachs. All rights reserved.